

■水原秋桜子 俳人。{ホトトギス}の黄金時代を築いたが、離脱し、主宰する{馬酔木}により俳句の発展に尽力した。

みずはらしゅうおうし

大本教・・・1892＝ 東京で産婦人科医の子に生まれる。

日清戦争始・1894＝ 2歳：

田中正造直訴1901＝ 9歳：

日露戦争終・1905＝13歳： 東京高等師範学校の附属小学校から、

独協中学を経て、

韓国併合・・・1910＝18歳：

第一高等学校に入学。

明治天皇没・1912＝20歳：

本格政党内閣1918＝26歳： 東京帝国大学医学部を卒業し、家業の産婦人科病院を継ぐ一方、血清化学研究所に入る。

ベルサイユ条約・1919＝27歳：

この間、短歌を試作する一方、句会に出、

原敬首相暗殺1921＝29歳： 高浜虚子の{ホトトギス}へ投句し始め、

水平社結成・1922＝30歳： 富安風生らと東大俳句会を再興、

家業を継いで宮内省侍医となり、多くの皇族の出産に立会う。

共産党事件・1928＝36歳： この年、昭和医専の教授となる。*{馬酔木}を主宰。

世界恐慌・・・1929＝37歳： *{ホトトギス}同人。短歌的抒情を導入、感動を調べで表現する清新典雅な自然詠に新風を樹立、山口誓子、阿波野青畝、高野素十と共に4Sと呼ばれて昭和初期の{ホトトギス}に黄金時代を築いた。

海軍軍縮条約1930＝38歳： 第1句集「葛飾」を上梓、みずみずしい抒情世界は青年俳人を魅了し、新興俳句の口火となり、石田波郷、加藤楸邨らの俳人を育てた。しかし主観や抒情を重んじる傾向は虚子の客観写生と対立、

満州事変・・・1931＝39歳： *主宰誌{馬酔木}に論文「自然の真と文芸上の真」を発表して{ホトトギス}を離脱した。

芥川直木賞始1935＝43歳： 以降、有季定型の立場をとり、

{馬酔木}により俳壇の重鎮として、俳句の発展に尽力。

日中戦争始・1937＝45歳：

日米開戦・・・1941＝49歳：

敗戦・・・1945＝53歳： 東京空襲で、家業の病院と自宅を焼失、八王子に疎開。

新憲法公布・1946＝54歳：

なお、昭和天皇・皇后の侍医を務めていたが、

独立回復・・・1951＝59歳：

マーデー事件・1952＝60歳： 医師を廃業。

自衛隊発足・1954＝62歳： 八王子から、西荻窪に転居。

55年体制始・1955＝63歳：

以後、ここを拠点に、全国各地を旅しながら、句作を続ける。

安保闘争・・・1960＝68歳：

全国総合計画1962＝70歳： 俳人協会会長。

東京リビア 1964＝72歳： 芸術院賞。

いざなぎ景気1966＝74歳： 芸術院会員。

美濃部都知事1967＝75歳： 勲三等瑞宝章。

石油ショック1973＝81歳：

・・・1981＝89歳： 没した。

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、「目でみる日本人物百科」、